

腎友会だより

鳥取県西部版

第44回 山陰労災病院腎友会通常総会



「あなたの足を守りましょう」を講演する渡部看護師

令和元年6月16日第44回山陰労災病院腎友会通常総会を当院大会議室で開催した。開会に先立って昨年の物故者4名に対して黙祷を行った。続いて加藤会長のあいさつ(別項掲載)の後、山陰労災病院腎友会センター・浜崎看護師長が「皆さんに開始が遅れたりしてご迷惑をおかけいたしますが、改善できるような頑張りです」とあいさつがあった。続いて、渡部看護師さんと坂根看護師さんによる「あなたの足を守りましょう」と題して講演があった。講演に参加した会員は、足を覗き込みながら、傷がないか、温度が低くないか、色はどうかなど異常がないか熱心に点検していた。

尚、通常総会では、司会の遠藤氏から「出席者34名(委任状18名)で総会成立します」と報告があり議題が審議され全議案の承認を得た。

特に役員改選では監査に加藤美香さんが任命された。

加藤会長あいさつ

みなさんこんにちは会長をさせて頂いております加藤です。

第44回の総会にお忙しい中、浜崎看護師長、坂根・渡部看護師、また会員のみなさんのご出席ありがとうございます。

年号が令和になりました。この機会に、心機一転して取り組んでいきたいと思っています。最初にお知らせすることは、山陰労災病院のホームページに「山陰労災病院腎友会」で掲載されたことや、新しく2名の方が会員になってくれたことです。私個人のことでありますが、昨年は心筋梗塞3箇所、腎臓がんによる腎臓摘出を体験しました。そのことを闘病記として書きました。書いてみると、私たちが安心して治療を受けられていることが、よくわかりました。医療スタッフの方々や、腎友会会員の皆さんに心より感謝しているところです。今後の問題として、

私たち患者も、高齢者になって通院の問題に、どう対処すべきかを真剣に考える時期に来ていると思います。昨年通勤状況のアンケートをさせて頂きました。総会資料の最後のページに結果を付けております。その現実を、3月14日に第48次国会請願に参加し、この問題を提起しました。また災害における身障者の対応についても、早急に対策を要請しました。いつ起るか分からない地震においても真剣に備えなければいけません。問題は山積していますが、「腎友会」会員が普段の疑問を話し合い、一つでも問題をなくしていくようにしたいと思います。今後とも心あるご協力をよろしくお願い申し上げます。

以上

